

教科(科目)	福祉(介護福祉基礎)	実施学年 (履修規定)	第2 学年 必修
単位数	3単位	教科書	発達と老化の理解(メヂカルフレンド社) 介護の基本I(中央法規出版)
		副教材	介護福祉用語辞典(福祉教育カレッジ)
科目の目標	介護を必要とする人の尊厳の保持や自立支援など介護の意義と役割を理解させ、介護を適切に行う能力と態度を育てる。		
目標達成に向けての取組	<ul style="list-style-type: none"> ・介護を取り巻く社会状況を理解させ、介護従事者として国民の求める介護従事者としての職業観を育成する。 ・サービス利用者のプライバシーや人権尊重の意義を人間としての尊厳の保持するための介護の必要性に関連づけて理解させる。 ・高齢者だけでなく障害児・障害者について介護保険法や障害者自立支援法のない用について具体的に理解させる。 ・介護者の安全や倫理について介護実習の取り組みと関連づけて体験的に学習させる。 		

◇ 進度

月	単元	学習内容・項目・活動等	評価方法・項目等	評価の規準等
4	高齢者の生活と介護	<ul style="list-style-type: none"> ○加齢によって生じる健康問題や生活の変化。 ・就労・雇用, 収入や余暇活動の変化と高齢者の生活 ・高齢者の生活課題やニーズの理解 ・老いへの適応の重要性を理解する。 ・高齢者を支える介護の在り方(介護福祉サービス) 	授業観察 老いへの適応説 確認テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の生活や心身の変化をデータや理解する。 ・高齢者支援の方法を理論と現実のサービスとを結びつけられる。 ・介護保険制度を理解する。
5		<ul style="list-style-type: none"> ○加齢に伴う身体機能の変化 ・外見と総体的な変化 ・各機能の変化と生活への影響 運動機能 	加齢の特徴調べノート	<ul style="list-style-type: none"> ・人間の発達についてその概要を理解する。 ・身体各機能の変化を理解する。
		中間考査(内容把握)		
		感覚・知覚機能	小テスト	・老化を具体的に理解する。
6		<ul style="list-style-type: none"> ○認知症の概念の理解 ・認知症に伴う生活上の課題やニーズの理解 	授業観察	・介護保険制度や介護福祉士制度における心身の状態を理解する。
7		<ul style="list-style-type: none"> ・認知症高齢者を支える介護の在り方(在宅/施設介護福祉サービス) 	ケアプラン例	・介護保険制度, 障害者自立支援制度などに関連させて理解する。
期末考査(内容把握) (介護実習 7/12 ~ 7/29)				
8	夏期休暇 (介護実習 8/24 ~ 9/8)			・実際の利用者の状態を観察できる。
9	障害者の生活と介護	<ul style="list-style-type: none"> ・障害の概念の理解 	授業観察	・障害の概念を理解している。
10		<ul style="list-style-type: none"> ・障害に伴う生活上の課題やニーズの理解 ・障害者を支える介護の在り方(介護福祉サービス) 	事例からの考察	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者基本法その他障害者の法制度とともに理解する。 ・障害者を支える介護のあり方や方法を理解している。
		中間考査(介護過程の計画レポート, 発表, 倫理綱領)		

月	単 元	学習内容・項目・活動等	評価方法・項目等	評価の規準等
1 1	介護福祉サービスの概要	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険制度と介護福祉サービスの具体的内容 ・障害者介護サービスの具体的内容 ・介護サービスの利用方法 ・在宅サービスと施設サービス 	授業観察	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険制度，障害者自立支援制度などに関連させて考える。
1 2	介護における安全確保と危機管理	<ul style="list-style-type: none"> ○介護における安全確保と事故対策 ・サービス利用者における安全確保と事故防止 ・事故回避のための安全管理システム，緊急連絡のあり方 	生活歴調査 学習プリント 授業観察	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢期の適応と生活課題を身近な例から理解する。 ・在宅介護での介護の実際と関連づけて理解できる。
期末考査（内容把握）				
1		<ul style="list-style-type: none"> ・転倒，転落の防止，骨折予防，防災対策や組織的な対応の理解 ○介護現場における感染症の実態の理解 ・感染予防の意義と必要性について理解 	授業観察 確認テスト 実習体験の振り返り グループ発表	<ul style="list-style-type: none"> ・生活援助の基本，こころとからだの理解と事故防止を関連づけて理解している。 ・介護実習での感染予防実践の確認ができる。
2		<ul style="list-style-type: none"> ・加齢と特徴と感染症 ・実習における感染予防 ○介護従事者の健康管理 ・介護従事者の健康管理の重要性 ・身体的健康管理の理解 ・精神的健康管理の理解 	ストレス調べノート	<ul style="list-style-type: none"> ・良質な介護福祉サービスを提供するためには介護従事者の心身の健康が重要であることを理解する。
3		<ul style="list-style-type: none"> ・労働災害防止計画，労働安全衛生管理 	小テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・労働に関連法を理解する。
学年末考査（内容把握，介護実習での体験整理）				

評価の観点及び趣旨

科目を2年間で分割履修する初年度であるため，上級学年で学習する体験的，実践的内容項目の基礎となる知識や心構えを理解することを重要な点とする。

① 関心・意欲・態度

介護に関する諸問題について関心を持ち，よりよい介護を目指して，意欲的に取り組むとともに創造的，実践的な態度を身につけている。

② 思考・判断

介護に関する諸問題の解決を目指して思考を深め，介護活動の現状について適切に判断し，創意工夫する能力を身に付けている。

③ 技能・表現

高齢者や障害者に対する基礎的・基本的な介護技術を身に付け，介護活動を計画し，適切に処理するとともに，その成果を的確に表現する。

④ 知識・理解

高齢者や障害者に対しての介護に関する基礎的・基本的な知識を身に付け，介護の意義や役割を理解している。

「基礎介護」の総合評価における各観点の割合

- | | | | |
|------------|--------|---------|--------|
| ① 関心・意欲・態度 | 25 %程度 | ② 思考・判断 | 25 %程度 |
| ③ 技能・表現 | 25 %程度 | ④ 知識・理解 | 25 %程度 |